

埼玉県かわらぶき技能士会 活動報告

- 1 平成 30 年度の主な活動は、彩の国技能フェスタへの参加、瓦葺き技能競技大会の実施、技能検定の実施など会員各位の協力のもと行われました。

技能競技大会に於いては会員の多忙の中参加いただき大変感謝しております。

また、技能検定においては今年度より国内の三級が実施されました、受験者は三名となりました、まだ第一回目である為課題も多いと思いますが、事前講習会での成果が出たものと思います、一級は受験者が一名で、二級は受験者がいませんでしたこれもこれからの課題かと思われます。

外国人向けの随時三級検定も今年度は二件実施されました、この検定も来年度も協力していきたいと思ひます。また、検定委員については今年度は補佐から検定員に一名、随時三級検定委員には一名の追加となりました、これからも皆様のご協力をお願い致します。
- 2 会員の拡大については、新規会員の入会方法を考えていかないと拡大には結び付いていかないと思われます、各種講習会では、今年度秩父支部において二回の実施をしていただきましたが、技能検定に関係するものとなりました。また、資格取得に関するもので今年度から始まったフルハーネス型安全帯の特別講習は参加申し込みが多く講習がなかなか受けられない状態です、会として早めの対応が必要だったと思ひます。
- 3 技能士会連合会との関係については、技能フェスタへの参加となりました、また、各種表彰では、布川相談役が現代の名工を受賞されました、また、栗原事務局長が建設マスターと彩の国優秀技能者（埼玉の名工）を、池内会長が検定功労賞を茂木康長さんが技能競技大会の知事賞を、田嶋貴彦さんが埼玉連会長賞を岡崎勝さんが役員功労を授与されました。

今年度の各種表彰を受けられた皆様のご活躍を期待するとともに後継者育成にご尽力をお願いいたします。